

**『先輩になるということ』**（4月12日）を振り返って・・・

<みんなの感想より>

- 中学校では、社会に出たときの生き方を学ぶので、部活のきちとしたしきたりは、とても重要なのかなぁと思いました。私も中学の間にしっかりと習慣をつけたいなぁと思いました。（女子）
- 先輩になるというのは、前よりも良いものにつくりあげていくことだと思うから、悪いことはやめて、しっかり良いことに改善していくのが大切なんだということが分かった。（男子）
- 先輩だからこうしていいとか後輩をああしていいとかそんなんはなしで、頼れる先輩にならなければいけないと思った。（男子）
- 私も、今年後輩ができるので、いい大人になれるように成長させてあげないといけないんだなぁということがわかりました。ちゃんと自分が後輩に何をしているのかを知りながら行動したいです。（女子）
- 優しいだけがいい先輩というわけではないと思いました。時にはしっかり注意してくれる先輩がいいなと思いました。自分がいい先輩になるために、まずは自分のことをしっかりできるようにしたいです。（女子）
- 私は良い先輩は気軽に話しかけてくれて、悪いことは悪いと言ってくれる先輩だと思います。1年生に頼ってもらえるように1年生に優しくしていきたいです。（女子）
- 今日の学習で、先輩で部活の雰囲気が変わるんだなと思った。自分はどんな先輩になればいいのかと改めて考えることができたのでよかった。後輩の良い見本になれるように色々努力しようと思った。ずっとやさしいばかりではなく時には怒ることも必要だと思うから、怒りすぎないように気をつけようと思った。（女子）
- ある程度やさしい先輩になるつもり。後輩にも好かれて、楽しい部活ができるようになりたい。でも厳しいところも見せないといけないとも思う。（男子）
- 1つ1つの言動に責任をもち、先輩としてやるべきことなどをしっかりと後輩に伝えたいです。やっていいこととダメなことの区別がつけられない人が先輩にはなれないから、自覚をもって先輩としてふさわしい行動をしたいです。自分がされて嫌なことを人にできないから、先輩としてやるべきことをしっかりとやりたいです。（男子）
- 自分の好き勝手な行動をしていたら、後輩が苦しい思いをする事がわかりました。常に後輩の気持ちを考え、「自分たちの時こうやった」ではなく、「後輩のためにこうするべきか、しないべきか」と考えたり、実際に後輩本人に聞いてみてもいいと思いました。「後輩」という存在が出来た時、後輩が自分の意見を言えて楽しい部活だと感じてくれるように、仲よくすることはもちろん、意見を聞いてみたりしゃべりやすい雰囲気を作ることも大切だと思いました。「放課後が楽しみ」と言ってもらえるよう頑張ります！（女子）

**2年生になり、みんなは“後輩”を迎えましたね。今回の道德では、先輩と後輩の関係について考えました。どんな先輩になりたいですか？いい先輩ってどんな存在だろう…？それは、一年前の自分自身に問いかけてみるといいかも
しれません。みんながそれぞれの場でカッコイイ先輩として活躍するのを楽しみにしています。がんばろう、2年生！**